

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課	■担当係	成人保健係
■評価事業名称	集団健康教育事業(一般)		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	040200 - 253	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実	
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	健康増進法		
■関連計画の名称	国保データヘルス計画 北上市健康づくりプラン 北上市障がい者プラン		
■事業の目的と概要	自らの生活を見直し、健康増進を図る。生活習慣病予防、健康増進等に関し講演会及び実技指導を実施		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	集団健康教育事業(一般)	一般市民	卒煙アシスト講座実施予定。	健康教育開催回数67回、1,589名。卒煙アシスト講座は延期。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	994	1,087	752	714	
人件費	3,109	4,328	1,098	2,732	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,103	5,415	1,850	3,446	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	参加人数1人あたりコスト	2,400円	3,570円	1,359円	2,169円	フルコスト/参加人数
02	教室参加者数(人/回)	22.8人	21.4人	18.9人	23.7人	開催回数、参加者数
03	開催回数1回あたりコスト	54,706円	76,268円	25,694円	51,433円	フルコスト/開催回数

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

国保データヘルス計画及び健康づくりプランに沿い、概ね順調に実施できていると考える。

問題点・課題等

教室参加者数が横ばいで推移しているため、実施方法の工夫や周知方法に工夫が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

生活習慣病予防や健康維持・増進のために必要不可欠な事業であるため、今後も継続して取り組む必要があると考える。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了